

科目名	エスニシティ論						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	竹村 博恵						

授業概要／Course outline

本授業は、国境を越えた人の移動（移民・難民）とエスニシティを切り口に、現代社会の不平等や排除がどのような仕組みの中で生み出されているのかを考えることを目的とする。授業では、法、歴史、教育、文化などに関する国内外の事例を扱い、その内容を手がかりに、社会が人をどのように分類し、位置づけ、扱っているのかを読み解く視点を養う。

移民や難民、エスニシティをめぐる問題は、ニュースやSNSを通して身近に触れる一方で、感情的な意見や偏った情報に流されやすい分野でもある。本授業では、賛成か反対かをすぐに判断するのではなく、「なぜそうに考えてしまうのか」「その見方はどのような前提や社会的背景に支えられているのか」を立ち止まって考える姿勢を重視する。エスニシティ論を通して、移民やマイノリティを個人の問題としてではなく、社会の制度や仕組みとの関係から捉え直し、自分自身の立場や社会との関わり方について考える経験をしてほしい。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：プレゼンテーション）

* 理論的な説明を行った後に、自分たちの日常生活に学習したテーマを落とし込み、自分の経験などを振り返りながら他のクラスメイトや全員での意見交換等を実施することがあります。

* 受講人数が少ない場合、13回目・14回目で個別プレゼンテーションを実施して定期試験の代わりとする場合があります。その場合は13回目に実施予定の講義をオンデマンド回に組み込みます。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業では、動画教材を視聴し、理解度確認のためのリアクションペーパーを提出してもらいます。（動画教材はmoodleにurlを記載しますので、各自アクセスして視聴してください）

授業内容・授業計画／Course description・plan

*進捗状況により適宜順番を調整することがあります。

1. 導入

本講義の進め方、評価方法などについて説明します。その後、クラス内での自己紹介を行います。

「エスニシティとは何か」についてクラス内で意見交換を行いながら解説します。

キーワード：エスニシティ

2. 人の移動とマイノリティに関する国際法

2回目の講義では、人の移動そのものが問題を生み出すのではなく、社会や国家の制度や仕組みが、移動する人を「問題」として位置づけてしまう構造について学びます。

キーワード：国家、外国人、マイノリティ

3. 移民の側から世界を見る

3回目の講義では、移民や「周辺」とされる人を理解することを通して、私たち自身がどんな視点で社会を見てきたのかを問い直していきます。

キーワード：周辺、移動民、フィールドワーク

4. フランスの移民と教育課題

4回目の講義では、「スカーフ問題」を通して、宗教そのものよりも、国家や学校の制度がどのように人を“問題”として扱ってしまうのかを考えます。

キーワード：共和国、宗教、イスラーム

5. ドイツ史の中の人の移動

5回目の講義では、ドイツの歴史を手がかりに、難民問題を「今の出来事」だけでなく、過去の体験や社会の記憶と結びついた問題として考えます。

キーワード：ドイツ、難民、庇護権

6. 人の移動が作ったアメリカ合衆国

6回目の講義では、アメリカ社会を例に、「人の移動」が人種やジェンダーの線引きと深く関わりながら社会そのものを作ってきたことを学びます。

キーワード：人種、ジェンダー、帰化法

7. イスラーム圏とエスニシティ

7回目の講義では、イスラーム圏の考え方と国民国家の仕組みを手がかりに、移民・難民の問題を「宗教の

問題」だけでなく、社会制度との関係から考えます。

キーワード：イスラームの伝統、旅、複雑なアイデンティティ

8. DNAからみた人の移動 日本人はどこからきたか

8回目の講義では、DNA研究の成果を手がかりに、「日本人とは何か」を一つの答えで決めつけるのではなく、多様な起源と重なり合う歴史から考えます。

キーワード：古代DNA分析、人類の拡散、日本人の起源

9. 日本からの海外移住の歴史

9回目の講義では、日本から海外へ移住した人びとの歴史を通して、移民を「外国人の話」ではなく、日本社会自身の経験として学びます。

キーワード：移民送り出し、出稼ぎ、植民

10. 在日コリアンの歴史と今

10回目の講義では、在日コリアンの歴史と現在を通して、差別を社会の制度や歴史の中で生まれる構造として捉え直し、周辺化された人びとの経験から自分の立場と社会の仕組みを問い直す視点を身につける。

キーワード：朝鮮学校、朝鮮籍、ヘイトスピーチ

11. 日本の入管法と諸問題

11回目の講義では、日本の入管法の成り立ちと変遷を学び、人の移動をめぐる問題を個人の責任の問題としてではなく、制度の設計や歴史的背景と結びついた社会的な問題として捉える視点を身につけます。

キーワード：入管法、制度と人の国際移動、在留管理制度

12. 都市、演劇、移動

12回目の講義では、演劇がつくる「共同体のイメージ」に注目し、誰が仲間となり誰が排除されてきたのかを考え、表現や文化・芸術がその仕組みに関わることを学びます。

キーワード：演劇、共同体、難民

13. 多文化共生のための教育 -多様性の尊重と社会正義の実現に向けて-

13回目の講義では、日本社会の多文化化を背景に、学校教育における多文化共生の考え方を学びます。少数者への支援だけでなく、多数派に属する自分たちの立場や考え方を問い直すことの大切さを理解します。

キーワード：多文化共生、異己理解、社会正義のための教育

14. 試験及び振り返り

第1回から13回までの内容について試験（レポート試験）を実施します。（60分間）

試験実施後は、再度要点の確認とまとめを行います。（30分間） 【学習成果実感調査を実施します。】

★オンデマンド テーマ：試験の解説

本科目の試験終了後2日以内に解説動画を配信します（40分）。試験解説を聞いて得られた新たな学びに関するレポートを各自書いて提出（50分）してください。定期試験終了日を配信終了日とします。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※事前学習では、自身の経験やメディア情報を手がかりに授業テーマへの関心や疑問点を整理しておきましょう（90分）。予習範囲は「授業内容・授業計画」の欄を参考にしてください。事後学習では授業内容とキーワードをまとめ直し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返ってください（90分）。

1. 導入

【事前学習】 シラバスをよく読み、授業内容の概略を理解しておくこと。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等で、この科目の学習内容を確認しておくこと。

2. 人の移動とマイノリティに関する国際法

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。

3. 移民の側から世界を見る

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。

4. フランスの移民と教育課題

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。

5. ドイツ史の中の人の移動

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。

6. 人の移動が作ったアメリカ合衆国

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。

7. イスラーム圏とエスニシティ

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

【事後学習】 配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。

8. DNAからみた人の移動 日本人はどこからきたか

【事前学習】 これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。

〔事後学習〕配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。 9. 日本からの海外移住の歴史 〔事前学習〕これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。 〔事後学習〕配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。 10. 在日コリアンの歴史と今 〔事前学習〕これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。 〔事後学習〕配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。 11. 日本の入管法と諸問題 〔事前学習〕これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。 〔事後学習〕配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。 12. 都市、演劇、移動 〔事前学習〕これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。 〔事後学習〕配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。 13. 多文化共生のための教育 -多様性の尊重と社会正義の実現に向けて- 〔事前学習〕これまでの自身の経験やメディアの情報などを手がかりに関心や疑問点を整理しておく。 〔事後学習〕配布資料と自身のノート等を確認・整理し、学ぶ前後で自分の考えがどう変わったかを振り返る。 14. 試験及び振り返り 〔事前学習〕1回目から13回目までのノートと、配布資料の内容を復習しておくこと。 〔事後学習〕問題用紙の内容を振り返り、自身の回答を確認しておくこと。 ★オンデマンド テーマ：試験の解説 〔事前学習〕配信動画を見ながら間違えた箇所を修正し、復習しておくこと。 〔事後学習〕試験解説を聞いて得られた新たな学びに関する100字程度のショートレポートを書いて提出すること。	
授業の到達目標／Expected outcome ・人の移動やエスニシティをめぐる問題を、個人の性格や文化の違いとしてではなく、国家・制度・歴史・教育などの社会的仕組みとの関係から説明できる。 ・「ネーション」「エスニシティ」「マイノリティ」などの基本概念を用いて、現代社会で起きている具体的な出来事を整理し、根拠にもとづいて考察できる。 ・授業で扱った内容を手がかりに、自分が前提としてきた見方や情報の偏りに気づき、他者と共に生きる社会のあり方を自分の言葉で表現できる。	
身につく資質・能力／Competencies to be attained ・ 思考力 - 専門知識・専門技能 【現代社会学部 現代社会学科】 ・社会学をはじめとする社会科学の応用知識	
履修上の注意／Special notes, cautions ・受講に際して、授業中の基本的ルールを守ること。 ・資料は暗記するのではなく、常に批判的に読むこと。 ・理論的な説明を行った後に、自分たちの日常生活に学習したテーマを落とし込み、自分の経験などを振り返りながら他のクラスメイトや全員での意見交換等を実施することがあります。 ・受講者数が10名以下の場合、最終試験に代えて個人プレゼンテーションを実施します。この場合、プレゼンテーションを最終試験（60%）と同等の割合で評価します。その際には13回目に実施予定の講義をオンデマンド回で実施することとします。	
評価方法／Evaluation ・最終試験60%＋平常点40%（授業内アクションペーパー・小レポート30%＋授業への取り組み姿勢10%） ・理解度の確認は試験だけでなく、授業中の短い記述やコメントも通して行います。 ・受講人数が少ない場合は、13回目・14回目の講義で学習内容と関連のあるテーマで個人プレゼンテーションを実施してもらい、それを最終試験（60%）の代わりとして評価します。	
教 材／Text and materials * 本講義は参考文献1の内容に沿って実施します。講義では講師がまとめたレジュメを配布しますが、関心のある方は参考文献として載せておきますので図書館で借りるか購入して読んでみてください。 * 参考資料図書 1) 中坂恵美子ほか 『人の移動とエスニシティ 越境する他者と共生する社会に向けて』（明石書店、2021年） 2) 青柳まちこ編・監訳 『「エスニック」とは何か エスニシティ基本論文選』（新泉社、1996年）	
質問や相談の方法／Instructor contact 質問等がある場合は、授業終了後に質問するか、もしくは初回授業時に連絡するメールアドレスへ連絡すること。	

その他／Others

- ・授業の終わりに授業の運営方法に関する意見を書いてもらうコメントシートを配布する場合があります。コメントについては、次の授業開始時に口頭でフィードバックを行います。